# 資源の有効活用の取り組み





# 基本的な考え方

ミネベアグループの製品に欠かせない金属、プラス チックなどの原材料や、エネルギー源となる石油、天然ガ スなどは、その使用量に限りがあります。また、電子機器 製品に不可欠なレアアース(希土類元素)は、産出国が限 られるため、輸出制限などを受けやすくなっています。

当社グループでは、事業活動の継続のためには資源の 有効活用が重要であると考え、経営的な視点から取り組 みを行っています。



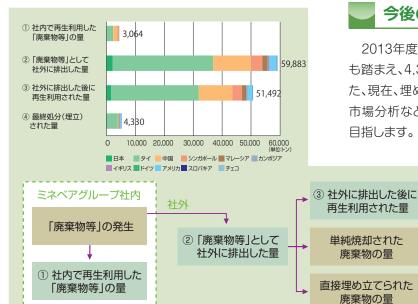
## 2012年度の取り組み結果

2012年度にミネベアグループ全体で使用された主な 原材料は、鋼材:約72,320トン、樹脂:約5,400トンで、合計 量は2011年度とほぼ同量でした。

一方、当社グループから社外に排出された後、最終処 分(埋立)された廃棄物量は4.330トンでした。2011年度 のレポートでは2011年度実績値を4.061トンと報告して おりましたが、集計方法に間違いがあり、再集計の結果正 しくは4,697トンでした。おわび申し上げます。そのため、 2011年度から比較した場合、2012年度は367トンの削 減となりました。

また、当社グループではタイや中国の量産工場におい

#### ▶廃棄物等処理実績(2012年度実績)





·事業所における取り組み (雨水および河川水の有効利用 ほか)

て、工場内で発生した排水を可能な限りリサイクルし、工場 外に排出しない「工場排水ゼロシステム」を運用していま す。2012年度の当社グループにおける工場排水量は 784,000m3で2011年度と比較して132,000m3の減量と なりました。



## 事業所における取り組み

#### ●携帯電話のリサイクル活動(タイ)

2012年3月より、ミネベアグループのタイ子会社はノ キアと共同で、廃棄携帯電話および付属品をリサイクル 回収する「Weee Can Doプロジェクト」を実施しました。 ノキアから記念品やプレゼントを抽選で贈ることで、ミネ ベア工場内で多くの廃棄携帯電話・付属品を回収しよう という取り組みです。バンパイン工場とロッブリ工場にお いて、ガードハウス、食堂、売店などに回収ボックスを設け たほか、従業員送迎バスに携帯電話回収キャンペーンの ステッカーを貼り、回収を呼びかけました。

回収された携帯電話、付属品は、ノキアが専門企業に 委託して、無害化処理後、リサイクル処理されます。今回 集まった携帯電話、付属品の台数は次のとおりです。

- ·バンパイン工場(実施期間:2012年3月13日~2012年9月13日) 携帯電話:2,169台、付属品:1,424個
- ·ロッブリ工場(実施期間:2012年11月1日~2013年3月29日) 携帯電話:1,106台、付属品:1,379個

単純焼却された

廃棄物の量

廃棄物の量

#### 今後の目標・課題

2013年度の廃棄物の最終処分量目標は、再集計結果 も踏まえ、4,300トン以下として取り組みを進めます。ま た、現在、埋め立て処分されている廃棄物の性状調査や 市場分析などにも取り組み、今後よりいっそうの削減を 目指します。

焼却灰の量

④ 最終処分(埋立)

された量